

## 兵庫県のセダカモクメ亜科

(兵庫県産蛾類分布資料・20)

高島 昭

今回は、兵庫県のセダカモクメ亜科(ヤガ科)について述べる。データは2001年3月31日現在で入手できた資料に基づいている。記載の要領はこれまでと同様であるが、とくに兵庫県立人と自然の博物館に収蔵されている標本について調査をする機会を得たので、あわせて紹介する。採集者名の右肩に★印がある記録は「県立人と自然の博物館」に収蔵されている標本を示す。なお、同じく右肩の数字は引用文献番号で、数字と★印が併記されているものはかつて記録が発表され、かつ標本を博物館で確認したものを示す。なお、標本調査及び記録の掲載について快諾いただいた兵庫県立人と自然の博物館の中西明德氏、八木剛氏にはこの場を借りて厚くお礼申し上げる。

## セダカモクメ亜科 (CUCULLIINAE)

この亜科は北半球の温帯に分布の中心を持っており、年1回、秋に出現するものが多い。大部分は温帯落葉樹林の樹木性の種で、一部に暖温帯常緑林に生息するものがある。また、内陸草原に優勢な属も一部にある。日本からは86種が知られており、そのうち兵庫県からは55種が見つかっている。概して県内における記録の集積は乏しく、既知産地が限定されている種が多い。発生時期が晩秋から初冬にかけての種が多く、加えて成虫越冬しない群もかなりあること、燈火には飛来しない種が多いことも記録が少ない要因と思われる。

人気の高いグループのわりに、最近になってナンカイミドリキリガ、アメイロホソキリガ、ヒロバモクメキリガなどが相次いで発見されているのもこのようなことによると思われる。

県下の記録を地域別に見ると、神戸39種、阪神・北摂34種、中東播南部19種、中東播北部19種、西播南部32種、西播北部31種、南但18種、北但11種、丹波6種、淡路北部2種、淡路南部22種となっていて、採集調査を行いやすいかまたは古くから行われている地域、温暖な地域での記録が多いようである。とくに秋から冬にかけては山地帯での調査が不十分であることは明らかである。越冬するものは春先の糖蜜採集やキブシ、ツバキなどの花に飛来するものを採集すれば効率よく得ることができるようなので、今後の記録の集積に期待したい。

セダカモクメ、アオモンギンセダカモクメ、ブラ

イヤオビキリガ、ホソバオビキリガ、シロクビキリガ、ウスアオキリガ、カタハリキリガ、ナカグロホソキリガ、アメイロホソキリガ、コケイロホソキリガ、サヌキキリガ、ムラサキミツボシキリガ、カバイロミツボシキリガ、ヨスジキリガ、キマエキリガ、エグリキリガ、ヤマノモンキリガ、スマレモンキリガ、ツチイロキリガ、イチゴキリガ、ハイロハガタヨトウは記録が少なく、「注目種」の表示を付したが、単に調査が不十分なだけのもも含まれていることをお断りしておく。

これらのうちアオモンギンセダカモクメ、サヌキキリガ、ツチイロキリガ、コケイロホソキリガなどは全国的にも局地的な分布をする希少種で、注目される。また、アオモンギンセダカモクメ、シロクビキリガ、カタハリキリガ、カバイロミツボシキリガ、エグリキリガ、ツチイロキリガ、ハイロハガタヨトウはいずれも1例のみの記録で、最近の採集例が無く確認が必要である。

1. *Cucullia maculosa* Staudinger (3651)

## ハイロセダカモクメ

北海道から九州に至る本土域と対馬に分布する。年1回夏の終わりから初秋にかけて出現する。幼虫はヨモギにつく。県下では記録が少なく、局地的な分布を示す。とくに山地性というわけではないようである。これまで神戸市、宝塚市、黒田庄町、波賀町で報告されている。

## [採集記録]

神戸市(摩耶山,10.IX.1967,1♀,岡村八郎<sup>3\*</sup>)

宝塚市(野上,30.IX.1974,1♀,東正雄<sup>19</sup>)

黒田庄町(喜多,23.IX.1960,1ex.;13.IX.1960,1ex.;20.IX.1962,1ex.,岡本清<sup>5</sup>)

波賀町(引原,17.IX.1988,1♂,高島昭<sup>10</sup>:坂の谷,19.VIII.1998,1♂;28.VIII.1998,1♂,高島昭)

2. *Cucullia perforata* Bremer (3653)

## セダカモクメ 注目種

ユーラシア種で日本では北海道から九州にかけてと対馬に分布する。年1回の出現で、8~9月に発生する。幼虫はアキノキリンソウ、ユウガギクにつく。県下では局地的な分布を示し、氷ノ山周辺の山地帯で記録があるほか、猪名川町からも得られている。この中間は草原性の種が多く、兵庫県には大規模な草原が少ないことから局地的な分布をする種が

多いが、播州高原や但馬の火山性草原の調査を行えば新しい産地が見つかる可能性は大きい。

【採集記録】

猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)  
波賀町(引原,-.VIII.1982,2♂,相坂耕作)  
村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂1♀,高島昭)  
氷ノ山(-.-.-,遠山ほか<sup>7</sup>)  
関宮町(氷ノ山,-.1954,-,山本義丸<sup>44</sup>)

3. *Cucullia argentea* (Hufnagel) (3657)

アオモンギンセダカモクメ 注目種

ユーラシア種で、日本では秋田、新潟、富山、福井、兵庫、岡山、香川、愛媛の諸県と対馬で記録があるだけで局地的な分布を示す。年1回秋に発生し、ヨモギ属につくという。県下では高砂市の古い記録が1例あるだけで極めて珍しく、詳しい調査が必要である。この種は植生が貧弱なところでよく見つかるらしく、海岸沿いの荒地などがポイントかもしれない。

【採集記録】

高砂市(-,21.IX.1963,-,岡本清<sup>4</sup>)

4. *Cucullia fraterna* Butler (3658)

ホソバセダカモクメ

ユーラシア種で北海道から九州に至る本土地域のほか奄美大島、沖縄でも採集されており、本属の中で最も分布域が広い。年2回の発生で、成虫は初夏と初秋に得られる。県下の記録はなぜか神戸、阪神地域に限られており、その他の地域からは報告がない。分布していないのが確認されていないだけなのかは不明である。ハルノノゲシ、アキノノゲシなどのキク科から幼虫が得られている。

【採集記録】

神戸市(有馬,3.VII.1948,1♀,東正雄<sup>19</sup>: 諏訪山公園,-.X.1997,-,山口福男<sup>10</sup>: 摩耶山,16.VIII.1984,1♂,岡村八郎<sup>8</sup>)  
西宮市(上葭原町,11.VII.1956,1♂,東正雄<sup>19</sup>)  
伊丹市(-,26.VI.1958,-,山本義丸<sup>44</sup>)  
川西市(黒川,7.IX.1996,1♂,高島昭<sup>13</sup>)  
能勢妙見山(18.VIII.1984,1♂,夏秋ほか<sup>27</sup>)

5. *Cucullia kurilullia* Bryk (3660)

キクセダカモクメ

北海道から九州までかなり普遍的に分布する。年2回の発生で、初夏の頃と初秋に成虫が得られる。幼虫はゴマナ、ユウガギクなどキク科につく。県下では丹波、淡路地域を除いて記録があり、本属中では最も普遍的であるが、どこにも普通にいるというわけではない。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃<sup>20</sup>)  
西宮市(香伊園,15.IX.1954,1♂,東正雄<sup>19</sup>)  
宝塚市(武田尾,7.X.1992,1♀,東たか<sup>19</sup>)  
高砂市(-,26.VIII.1976,1ex.,岡本清<sup>4</sup>)  
黒田庄町(喜多,3.VII.1959,1ex.;4.V.1959,1ex.;18.V.1959,1ex.;29.IX.1959,1ex.;5.V.1960,2exs.;25.IV.1960,1ex.,岡本清<sup>4</sup>)  
波賀町(引原,22.VI.1974,1♂;22.V.1976,1♀,遊磨正秀<sup>46</sup>)  
日高町(神鍋,19.VII.1976,1♂,山本義丸<sup>44</sup>)  
和田山町(玉置,22.IX.1998,1ex.柴田剛)  
大屋町(横河溪谷,15.V.1999,1♂,高島昭)  
氷ノ山(-.-.-,遠山ほか<sup>7</sup>)

6. *Daseochaeta viridis* (Leech) (3669)

ケンモンミドリキリガ

ミドリケンモンという別名がある。北海道から九州まで本土地域に広く分布する。屋久島でも記録がある。年1回10~11月頃に出現する。幼虫はチドリノキ、ヤマザクラなどの広葉樹を食べる。県下ではほぼ全域に分布しているが、西播南部、南但、丹波、淡路北部など記録がない地域もある。おそらく広く分布しているものと思われる。

【採集記録】

神戸市(藍那,26.X.1987,1♂,中川俊夫<sup>\*</sup>: 諏訪山公園,-.X.1997,-,山口福男<sup>10</sup>: 布引公園,17.XI.1988,1♂;10.XI.1989,1♂,八木剛<sup>38</sup>: 摩耶山,8.XI.1984,2♂,岡村八郎<sup>8</sup>\*: 世継山,7.XI.1991,2♂;23.XI.1991,1♂,岡村八郎<sup>8</sup>\*)  
川西市(一の鳥居,10.XI.1984,1♀,夏秋ほか<sup>28</sup>: 黒川,9.XI.1996,1♂;1.XI.1997,1♂2♀,高島昭<sup>13</sup>)  
宝塚市(武田尾,15.XI.1992,2♂,東正雄<sup>19</sup>: 西谷西部,28.X.1979,1♂,東正雄<sup>19</sup>: 武庫川町,11.XI.1978,-,新家勝<sup>31</sup>)  
黒田庄町(喜多,10.XI.1960,1ex.;9.XI.1962,1ex.,岡本清<sup>4</sup>)  
姫路市(書写台,15.XI.1988,1♂,高島昭)  
波賀町(引原,22.X.1975,1♂,遊磨正秀<sup>46</sup>: 同,19.X.1988,1♂,高島昭<sup>13</sup>)  
豊岡市(山本,7.XI.1972,-,山根政之<sup>17</sup>)  
竹野町(森本,15.XI.1998,2exs.,柴田剛)  
洲本市(宇山,8.XI.1981,2exs.;15.XI.1981,1ex.,林俊雅<sup>32</sup>)  
南淡町(阿万上町,-.XI.1960,-,藤平明<sup>35</sup>: 同,15.XI.1990,-;13.XI.1991,-,藤平明<sup>35</sup>: 灘黒岩,24.XI.1997,-,藤平明<sup>35</sup>)

7. *Dryobotodes intermissa* (Butler) (3671)

## ナカオビキリガ

日本特産種。北海道から本州、四国、九州にかけて分布し、年1回、晩秋に出現する。大図鑑では出現時期を10~11月としているように比較的出現時期は短いようであるが、なかには1月はじめまで生き延びるものもあるようだ。成虫で越冬しない。兵庫県での分布は南部の低山地に限られているが、内陸部、北部からも発見が期待される。本種を含めて、セダカモクメ亜科のキリガ類は出現時期が晩秋に限られ成虫越冬をしないものがあり、これらについては十分な調査ができていないものと思われる。

## 【採集記録】

神戸市(布引公園,17.XI.1988,1♂2♀;24.XI.1989,1♀,八木剛<sup>38\*</sup>:鉢伏山,1.XII.1989,1♀,八木剛<sup>38</sup>:摩耶山,8.XI.1984,1♂;10.XI.1984,1♂,岡村八郎<sup>\*</sup>:世継山,7.I.1991,1♀,岡村八郎<sup>\*</sup>)  
川西市(一の鳥居,10.XI.1984,3♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)  
宝塚市(西谷西部,27.X.1979,1♀,東正雄<sup>19</sup>)  
黒田庄町(喜多,10.XI.1960,1ex.,岡本清<sup>5</sup>)  
相生市(三瀬山,12.XII.2000,1♂,高島昭)  
三日月町(下本郷,-.X.1984,-,川副昭人<sup>4</sup>)  
洲本市(宇山,29.XI.1981,2exs.,林俊雅<sup>21</sup>)  
南淡町(阿万上町,23.XI.1991,-,藤平明<sup>25</sup>:福良向谷,20.XI.1997,-,藤平明<sup>25</sup>)

8. *Dryobotodes pryeri* (Leech) (3672)

## プライヤオビキリガ 注目種

日本特産種で、北海道から九州まで本土域に広く分布している。年1回の発生で、晩秋に出現する。成虫越冬はしない。幼虫はヒメヤシャブシを食べるといふ。前種に比べて山地性の傾向がある。県下では川西市、大河内町、波賀町で記録されているだけで少ない種である。本種は出現期間が極めて短いものと思われる、このことが記録の少ない要因の一つであると思われる。

## 【採集記録】

川西市(一の鳥居,10.XI.1984,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)  
大河内町(長沢,29.X.1999,3♂,高島昭)  
波賀町(引原,19.X.1988,2♂,高島昭<sup>10</sup>)

9. *Dryobotodes angusta* Sugi (3673)

## ホソバオビキリガ 注目種

日本特産種。産出は局地的で、北海道、岩手県岩泉町、千葉市、香川県高松市、大阪府、小豆島、福岡市、大牟田市などで採集例がある。暖温帯落葉林に優勢な種と思われるが、最近北海道からも記録された。年1化、晩秋11月から12月にかけて出現する。成虫では越冬しないと推定されている。県下で

は永らくホロタイプとして記載された黒田庄町での1例のみであったが、神戸市鉢伏山でも確認された。現状では極めて稀な種であるが、発生時期が遅くそれほど調査が行われていないこともあると思う。低山地から里山にかけてこの時期の調査を行えば、新しい産地はみつかると思う。

## 【採集記録】

神戸市(鉢伏山,26.XII.1989,2♂,八木剛<sup>38</sup>)  
黒田庄町(喜多,15.XI.1960,1ex.,岡本清<sup>5</sup>)

10. *Xylena fumosa* (Butler) (3675)

## アヤモクメキリガ

暖温帯性の種で、関東地方、新潟県を北限として九州までの西日本で記録がある。里山や二次林が分布の中心である。一般に個体数は少ない。年1回の発生で、11月頃に出現し、そのまま越冬し、早春に再び活動する。幼虫は多食性で、樹木よりも草本で多く見出されるという。県下ではやや産地は限られており、西播北部から但馬にかけて広い範囲で記録が見られない。記録のある地域でも個体数は少ないようである。

## 【採集記録】

神戸市(摩耶山,17.XI.1984,-,岡村八郎<sup>3</sup>)  
黒田庄町(喜多,20.III.1959.1ex.,岡本清<sup>5</sup>)  
姫路市(豊富町神谷,18.III.1984,1♀,稲田和久<sup>12</sup>)  
御津町(豊富,26.II.1984,5♂1♀,稲田和久<sup>12</sup>)  
相生市(瓜生,25.II.1997,1♂,高島昭<sup>14</sup>)  
柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸<sup>42</sup>)  
南淡町(阿万上町,14.III.1986,-,藤平明<sup>24</sup>)

11. *Xylena nihonica* (Höne) (3676)

## ハネナガモクメキリガ

日本特産種。暖温帯性の種で、常緑カシ林が多く保存されているところに産地が多いという。分布は関東南部が北限で、東海、近畿、四国、九州、対馬、屋久島、沖縄本島に至る。年1回の発生で、10月に出現、成虫で越冬し、早春にも活動する。幼虫は多食性で、サクラヤカシなどにつく。県下では神戸・阪神地域から西播磨にかけての瀬戸内側で記録があり、これらの地域では普通種である。淡路地域にも分布している。糖蜜によく集まる。

## 【採集記録】

神戸市(有馬,27.III.1971,1♂,遊磨正秀<sup>46</sup>:布引公園,12.III.1983,1♀;17.XI.1988,1♂4♀,八木剛<sup>38</sup>:同,17.XI.1988,3♂,八木剛<sup>\*</sup>:鉢伏山,1.XII.1989,22♂2♀;8.XII.1989,1♂2♀,八木剛<sup>38\*</sup>:同,1.XII.1989,3♂4♀,N.Sugiura<sup>\*</sup>:同,1.XII.1989,6♂1♀,森谷正之<sup>\*</sup>:同,15.XII.1989,12♂1♀;21.II.1990,1♂1♀,八木剛<sup>38</sup>)  
川西市(笹部,20.III.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>:東多田,21.

XII.1983,1♂,夏秋ほか<sup>2a)</sup>  
 猪名川町(上阿古谷,27.III.1984,1♂,夏秋ほか<sup>2a)</sup>  
 姫路市(広峰神社,26.III.1983,1♀,稲田和久<sup>1)</sup>  
 香寺町(中村,19.III.1983,1♂,稲田和久<sup>1)</sup>  
 御津町(稲富,17.III.1983,4♀,稲田和久<sup>1)</sup>:室津赤碓,10.III.1982,1♂;9.III.1983,1♂;17.II.1983,2♂,稲田和久<sup>1)</sup>  
 安富町(大河溪谷,14.XI.1998,1♂;21.XI.1998,1♂,高島昭)  
 相生市(瓜生,2.XII.1998,1♂,高島昭:三濃山,24.III.1983,1♀,稲田和久<sup>1)</sup>:同,13.IV.2000,1♂;2.XII.2000,4♂;12.XII.2000,3♂;22.XII.2000,1♂,高島昭)  
 南淡町(阿万上町,6.II.1994,-,藤平明<sup>35)</sup>

## 12. *Xylena formosa* (Butler) (3677)

### キバラモクメキリガ

北海道から九州に至る本土域で本属中最も普通に見られる。年1回、10~11月に出現し、成虫で越冬、翌春再び活動する。幼虫は多食性。県下では各地で記録され、普通に見られる種である。

### [採集記録]

神戸市(藍那,19.IV.1988,2♀,中川俣夫\*:諏訪山公園,-.XI.1997,-,山口福男<sup>10)</sup>:布引公園,12.III.1983,1♂1♀;25.III.1983,1♀;30.III.1983,1♀,八木剛<sup>35)</sup>:同,17.XI.1988,1♂,八木剛\*:鉢伏山,1.XII.1989,5♀,八木剛<sup>35)</sup>:同,8.XII.1989,5♂,八木剛\*:同,21.II.1990,7♂1♀,八木剛<sup>35)</sup>:同,1.XII.1989,3♂,N.Sugiura\*:同,1.XII.1989,6♂,森谷正之\*:摩耶山,-.-.-,田中蕃<sup>20)</sup>:同,17.XI.1984,1♀,岡村八郎\*:世継山,7.I.1991,1♂,岡村八郎\*)  
 西宮市(上葭原町,29.XI.1968,1♀,東正雄<sup>19)</sup>:東浜町,16.III.1957,1♀,石黒<sup>19)</sup>  
 川西市(一の鳥居,2.IV.1985,1♀;26.IV.1985,1♂,夏秋ほか<sup>2a)</sup>:笹部,16.I.1983,1♀;20.III.1983,1♀,夏秋ほか<sup>2a)</sup>:東多田,19.III.1983,1♀,夏秋ほか<sup>2a)</sup>  
 猪名川町(上阿古谷,6.IV.1983,1♀;10.XII.1983,1♀,夏秋ほか<sup>2a)</sup>  
 宝塚市(武田尾,17.XI.1991,1♀,東正雄<sup>19)</sup>:西谷西部,25.XII.1979,1♂,東正雄<sup>19)</sup>:武庫川町,4.XII.1979,-,新家勝<sup>31)</sup>  
 黒田庄町(喜多,3.IV.1959,lex.;3.II.1962,lex.;7.II.1962,lex.,岡本清<sup>5)</sup>  
 姫路市(広峰神社,26.III.1983,1♂,稲田和久<sup>1)</sup>:そうめん滝,18.III.2000,1♀,高島昭)  
 大河内町(長沢,29.X.1999,1♂;29.IV.2000,3♂,高島昭)  
 御津町(稲富,17.III.1983,1♀;26.II.1984,1♂,稲田和久<sup>1)</sup>:室津赤碓,5.III.1983,2♀,稲田和久<sup>1)</sup>:室津賀茂神社,12.III.1981,1♀;3.III.1983,2♀,稲田和久<sup>1)</sup>  
 波賀町(引原,18.V.1974,1♀;7.IV.1975,3♂;22.IV.1975,

2♂;2.IV.1976,1♂;30.III.1976,2exs.;8.V.1977,1♀;22.IV.1977,1♂5♀;3.V.1978,1♂;3.V.1979,5♀,遊磨正秀<sup>46)</sup>:同,18.IV.1982,3exs.,稲田和久<sup>1)</sup>:同,24.III.1988,2♀;27.III.1988,1♀,高島昭<sup>10)</sup>:同,12.XI.1997,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,25.IV.1996,1♂,高島昭<sup>14)</sup>)

上郡町(行頭,2.V.1995,1♂,高島昭<sup>11)</sup>)

豊岡市(正法寺,8.XI.1998,1ex.,柴田剛)

温泉町(扇ノ山,3.V.1985,1♂,足立義弘<sup>24)</sup>)

関宮町(氷ノ山,2.XI.1991,1♂,八木剛\*)

氷上郡(-.-.-,山本義丸<sup>41)</sup>)

津名町(大町畑,10.III.1973,1♂,登日邦明<sup>24)</sup>)

洲本市(宇山,20.XI.1981,1ex.,林俊雅<sup>32)</sup>)

南淡町(阿万上町,29.III.1959,-;11.II.1962,-,藤平明<sup>35)</sup>:

同,19.XI.1991,-;30.III.1997,-,藤平明<sup>35)</sup>:灘大川,21.III.1996,-,藤平明<sup>35)</sup>)

## 13. *Lithophane ustulata* Butler (3679)

### ハンノキリガ

北海道から九州にかけて分布する。10~11月に出現し、成虫で越冬、早春に活動する。糖蜜によく集まる。幼虫は、コナラ、ミズナラから見出されている。県下では南部平坦地から低山地にかけて分布しているが、中東播、但馬、丹波地域からは現在のところ記録がない。おそらく県下に広く分布しているものと思われる。

### [採集記録]

神戸市(藍那,23.IV.1985,1♀,中川俣夫\*:布引公園,12.III.1983,1♂1♀;25.III.1983,1♀;30.III.1983,1♀,八木剛<sup>35)</sup>:鉢伏山,1.XII.1989,5♀;21.II.1990,7♂1♀,八木剛<sup>35)</sup>:摩耶山,-.-.-,田中蕃<sup>20)</sup>:六甲山,25.IV.1985,1♂,岡村八郎\*:世継山,23.I.1991,1♂;14.XI.1991,1♂;18.IV.1992,1♀,岡村八郎\*)  
 川西市(一の鳥居,27.III.1983,2♀;2.IV.1985,2♀,夏秋ほか<sup>2a)</sup>  
 猪名川町(上阿古谷,27.IV.1984,2♂2♀,夏秋ほか<sup>2a)</sup>  
 宝塚市(南口2丁目,5.XII.1984,-,新家勝<sup>31)</sup>)  
 三田市(相野,14.IV.1985,1♀,岡村八郎\*)  
 御津町(稲富,17.III.1983,1♀,稲田和久<sup>1)</sup>:室津赤碓,5.III.1983,1♀;9.III.1983,2♀,稲田和久<sup>1)</sup>:室津賀茂神社,12.III.1981,1ex.;14.III.1982,1♀;16.III.1981,5exs.,稲田和久<sup>1)</sup>  
 波賀町(引原,7.IV.1975,1♂,遊磨正秀<sup>46)</sup>:同,4.IV.1983,1♀,稲田和久<sup>1)</sup>  
 相生市(瓜生,31.III.1997,1♂,高島昭<sup>14)</sup>:同,17.III.1999,1♂,高島昭:三濃山,12.XII.2000,1♂1♀;19.III.2001,1♀,高島昭)  
 三日月町(下本郷,-.III.1984,-.XI.1984,-,川副昭人<sup>8)</sup>:同,30.III.1984,2♀,川副昭人\*)

洲本市(厚浜,29.XI.1977,-,藤富正昭<sup>3)</sup>)

14. *Lithophane pruinosa* (Butler) (3680)

カシワキボシキリガ

北海道から九州に至る本土域に分布し、10~11月  
に出現する。成虫越冬で翌春再び活動する。幼虫は  
クヌギから見出されている。和名は特定の食樹を示  
すものではない。県下では神戸・阪神、西播、淡路  
南部など南部の平坦地から低山地にかけて記録され  
ている。県下各地に広く分布していると思われるが  
前種よりは少ない。

【採集記録】

神戸市(諏訪山公園,-.XI.1997,-,山口福男<sup>4)</sup>: 布引公園,  
16.III.1985,1♀,八木剛<sup>3)</sup>: 鉢伏山,15.XII.1989,1♂;  
21.II.1990,2♂ 1♀,八木剛<sup>3)</sup>: 磨耶山,-.-.-,田中蕃<sup>2)</sup>  
川西市(一の鳥居,6.IV.1985,1♀,夏秋ほか<sup>2)</sup>)  
猪名川町(上阿古谷,27.III.1984,1♀,夏秋ほか<sup>2)</sup>)  
御津町(室津赤碓,5.III.1983,2♀;9.III.1983,1♂ 2♀,稲  
田和久<sup>1)</sup>: 室津賀茂神社,16.III.1981,1♂,稲田和久<sup>1)</sup>)  
波賀町(引原,6.XII.1975,1♂;22.X.1975,1♂,遊磨正秀<sup>4)</sup>)

相生市(瓜生,17.III.1999,1♂,高島昭: 三瀬山,24.III.  
1983,1♀,稲田和久<sup>1)</sup>)

三日月町(下本郷,-.IV.1984,-,川副昭人<sup>4)</sup>: 同,30.III.  
1984,5♂,川副昭人<sup>4)</sup>)

洲本市(宇山,29.XI.1981,1ex.,林俊雅<sup>2)</sup>)

15. *Lithophane consocia* (Borkhausen) (3682)

シロクビキリガ 注目種

ユーラシア種で、日本では北海道から九州に至る  
本土域と伊豆大島に分布する。西日本では相当の高  
地に限られ、最近では広島県吉和村からの記録があ  
る。成虫は9月に出現し、成虫で越冬し、翌春にも  
見られる。幼虫はハンノキで飼育されている。県下  
の記録は波賀町の1例のみであり、詳しい調査が必要  
である。おそらく氷ノ山を中心とする西播北部から  
但馬地域の山地に限られるものと思われる。

【採集記録】

波賀町(引原,7.IV.1975,1♀,遊磨正秀<sup>4)</sup>)

16. *Lithophane venusta* (Leech) (3684)

ウスアオキリガ 注目種

前翅の斑紋には二つの型がある。北海道から九州  
まで分布する。年1回、秋に出現し成虫で越冬、春  
に再び活動する。幼虫はミズナラから得られている。  
県下では神戸市有馬と波賀町の引原ダムで記録があ  
るだけで少ない種である。しかし、県下一帯の山地  
に広く分布しているのではないかと思われる。

【採集記録】

神戸市(有馬,5.IV.1970,1♂;1.V.1971,1♀,遊磨正秀<sup>4)</sup>)  
波賀町(引原,18.IV.1982,1♂,稲田和久<sup>1)</sup>)

17. *Lithophane rosinae* (Püngeler) (3685)

カタハリキリガ 注目種

前翅の斑紋や色調には変異が大きい。全体が褐色  
の型はナカグロホソキリガに似るが、外縁角付近の  
黒色紋は本種だけの特徴である。冷温帯性の種で、  
北海道から中部山地にかけてが主たる分布域で、西  
南日本では兵庫県と愛媛県から記録がある。11月頃  
羽化し、成虫で越冬した後、春に再び活動する。自然  
状態での食樹は不明だがサクラで飼育可能という。  
県下では引原ダムでの報告が唯一であり、産地は局  
限されていると思われる。

【採集記録】

波賀町(引原,7.IV.1975,1♂,遊磨正秀<sup>4)</sup>)

18. *Lithophane hepatica* (Clerck) (3686)

ナカグロホソキリガ 注目種

北海道から中部山地にかけてが主たる分布域であ  
り、西南日本では山地に限られる。四国からも記録  
がある。年1回、9月に出現し、成虫で越冬する。  
県下では、波賀町と大屋町の山地帯でのみ記録され  
ている。前種と同様、産地は局限されていると思わ  
れる。春はよく燈火に飛来する。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,28.IV.1998,1♂,高島昭<sup>1)</sup>: 同,12.XI.

1991,1♂ 1♀,八木剛<sup>3)</sup>: 引原,7.IV.1975,1♂;2.IV.

1976,1♀;3.V.1979,1♀,遊磨正秀<sup>4)</sup>)

大屋町(横行溪谷,28.V.1999,1♀,高島昭<sup>1)</sup>)

19. *Lithophane remota* Hreblay & Ronkay (\*\*\*\*)

アメイロホソキリガ 注目種

以前はナカグロホソキリガと混同されていたが、  
1998年に分離された。ナカイロホソキリガより全  
体に淡い色合いで、前翅中程の黒斑がなく地色と同  
系色をしている。新潟、長野、山梨、静岡、群馬、  
東京などで記録され、ナカグロホソキリガと混生す  
るといふ。筆者の所有する兵庫県産のナカグロホソ  
キリガの標本を検討した結果、波賀町、大屋町産の  
ものに本種が混じっていた。おそらく中央山地帯に  
広く分布するものと思われる。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,17.IV.1998,1♂,高島昭)

大屋町(横行溪谷,17.IV.1999,3♂,高島昭)

20. *Lithophane nagaii* Sugi (3687)

コケイロホソキリガ 注目種

日本特産種で、暖温帯林に優勢でかつ山地性であ

る。静岡県、新潟県を北限とし、四国、九州、屋久島まで分布する。年1回10月頃に出現し、越冬後春に再び活動する。幼生期は不明である。県下ではこれまで記録がなかったが、筆者は最近大河内町と大屋町で採集している。極めて局地的で少ない種と思われるが、灯火にもよく飛来するようなので充分調査を行えば新産地は発見できると思われる。

**[採集記録]**

大河内町(長沢,29.X.1999,1♂;29.IV.2000,3♂,高島昭)  
大屋町(横行溪谷,17.IV.1999,1♂,高島昭<sup>16</sup>)

**21. *Elwesia sugii* Yoshimoto (3688)**

サヌキキリガ 注目種

暖温帯性の蛾で極めて局地的な分布を示す。香川県琴平町の象頭山の照葉樹を主体とする原生林で初めて記録され、その後大阪府箕面、愛知県豊田市、大阪府泉佐野市、熊本県、鹿児島県大口市など西日本各地で産地が見つかった。11月に出現するが春の採集例はなく、成虫越冬かどうかは不明とされている。

県下では大阪府との境に近い川西市で最初に得られ、その後神戸市の六甲山系南部の山麓部からも記録された。筆者も相生市の照葉樹林で確認している。局地的な種のようなのであるが、照葉樹の残る低山地から沿岸部を探せば案外各地で見つかるかもしれない。糖蜜採集が有効と思われる。

**[採集記録]**

神戸市(布引公園,17.XI.1988,1♀,八木剛<sup>38</sup>:鉢伏山,8.XII.1989,1♂,八木剛<sup>39</sup>)  
川西市(黒川,8.XII.1982,1♀,川副昭人<sup>24</sup>)  
相生市(三濃山,2.XII.2000,1♂1♀,高島昭)

**22. *Eupsilia tripunctata* Butler (3690)**

ミツボシキリガ

暖温帯の二次林に優勢な蛾で、関東地方を北限として四国、九州、対馬に産する。10月頃出現し、越冬した蛾は翌春にも見られる。幼虫はエノキを食べる。県下では南部の平地から低山地で散発的に記録がある。おそらくエノキをまじえた二次林があれば広く分布していると思われる。発生初期の確認例は少ないが、早春にはよく見られる。糖蜜採集が有効である。

**[採集記録]**

神戸市(諏訪山公園,-.IV.1997,-,山口福男<sup>40</sup>:布引公園,12.III.1983,2♀,八木剛<sup>38</sup>:摩耶山,-.-.-,田中蕃<sup>25</sup>)  
川西市(東多田,24.III.1981,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)  
姫路市(太市,21.XI.1998,1♂,高島昭)  
御津町(稲富,26.II.1984,1♂,稲田和久<sup>1</sup>)  
相生市(三濃山,22.II.2001,1♂;6.III.2001,2♂1♀;19.III.

2001,2♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.III.1984,-,川副昭人<sup>4</sup>)

洲本市(宇山,13.II.1982,1ex.,林俊雅<sup>32</sup>)

南淡町(阿万上町,22.II.1962,-,藤平明<sup>36</sup>:同,25.III.1993,-,藤平明<sup>35</sup>)

**23. *Eupsilia unipuncta* Scriba (3691)**

ムラサキミツボシキリガ 注目種

暖温帯域の蛾であるが局地的な分布をし、個体数も少ない。福島県、宮城県、足尾銅山、奥多摩町、三峰山、神奈川県、山梨県、岐阜県、愛媛県、熊本県、大分県などで記録されている。近畿地方では大阪府箕面、奈良県川上村で記録がある。年1回10月に出現し、成虫で越冬する。山地性で、県下では安富町、波賀町引原ダムなど西播北部の山地帯で記録されている。高標高地よりもむしろ暖帯林の優勢な山地帯が主たる生息地であるように思われる。筆者が確認したのはいずれも灯火に飛来したものであるが、糖蜜採集が有効との報告もある。

**[採集記録]**

安富町(大河溪谷,27.III.1999,1♂,高島昭<sup>16</sup>)

波賀町(引原,4.XI.1988,1♂,高島昭<sup>10</sup>:同,12.XI.1997,1♂,高島昭<sup>15</sup>)

**24. *Eupsilia boursini* Sugi (3692)**

カバイロミツボシキリガ 注目種

冷温帯性の種で、北海道から本州中部山地にかけて産地があり、四国剣山でも記録がある。近県では奈良県上北山村で記録がある。10月に出現し、成虫で越冬、翌春再び活動する。幼虫はシナノキを食べることがわかっている。県下の記録は引原ダムで得られた1例のみで詳しい調査が必要である。前種よりも山地性で局地的な分布をすと思われる、氷ノ山周辺での発見が期待される。

**[採集記録]**

波賀町(引原,6.XII.1975,1♂,遊磨正秀<sup>46</sup>)

**25. *Eupsilia quadrilinea* (Leech) (3693)**

ヨスジノコメキリガ

日本特産種。暖温帯性で、関東南部を北限とし、四国、九州、対馬に分布する。年1回、10月頃に羽化し、越冬した蛾は翌春に再び見られる。県下では南部の低山地で記録されており、生息地での個体数は少なくない。おそらく県下全域の里山には広く分布していると思われる。

**[採集記録]**

神戸市(布引公園,12.III.1983,1♀;25.III.1983,1♂;30.III.1983,2♀;16.III.1985,1♂;17.XI.1988,1♀;24.XI.1989,1♀,八木剛<sup>38</sup>:鉢伏山,1.XII.1989,1♀;15.XII.

1989,1♂;20.X.1989,1♀;21.II.1990,2♂1♀,八木剛<sup>34)</sup>  
 川西市(東多田,29.III.1984,1♀,夏秋ほか<sup>28)</sup>  
 姫路市(そうめん滝,3.III.2000,2♂,高島昭)  
 御津町(稲富,17.III.1983,1♀;4.II.1984,1♂,稲田和久<sup>1)</sup>  
 :室津赤碓,9.III.1983,3♀;12.III.1983,1♀;3.III.1984,  
 1♀,稲田和久<sup>1)</sup>:室津賀茂神社,16.III.1982,1♀,稲田  
 和久<sup>1)</sup>  
 相生市(三濃山,2.XII.2000,1♂;22.II.2001,1♂;6.III.  
 2001,1♂5♀,高島昭)  
 三日月町(下本郷,-.III.1984,-,川副昭人<sup>8)</sup>)

## 26. *Eupsilia strigifera* Butler (3694)

### ヨスジキリガ 注目種

日本特産種。東北南部以南の本州と四国、九州、  
 対馬に分布するが、個体数は少ない。近県では大阪  
 府泉佐野市からの報告がある。年1回、秋に出現し、  
 越冬した蛾は翌春再び活動する。県下では安富町、  
 御津町、波賀町と西播地域でのみ記録されている。  
 南部の平坦地を中心にもっと広く分布していると思  
 われ、記録の集積が望まれる。

### 【採集記録】

御津町(室津赤碓,9.III.1983,3♀,稲田和久<sup>1)</sup>  
 安富町(大河溪谷,14.XI.1998,1♂,高島昭<sup>16)</sup>  
 波賀町(引原,22.IX.1981,2♂,稲田和久<sup>1)</sup>)

## 27. *Eupsilia contracta* Butler (3695)

### ウスミモンキリガ

北海道から九州にかけての本土域に分布し、低標  
 高の二次林が主たる生息場所である。西表島からも  
 記録がある。年1回、10月に発生するが、灯火採集  
 では得難く糖蜜採集が有効である。幼虫はハンノキ  
 属を食べる。県下では南部の平地から低山地に分布  
 している。中央山地や県北部での発見が期待される。

### 【採集記録】

神戸市(新神戸駅,8.IV.1983,1♀,八木剛<sup>34)</sup>  
 川西市(東多田,24.II.1981,1♂;19.III.1983,1♂;27.III.  
 1983,1♂;29.I.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28)</sup>  
 明石市(大久保町,16.III.1964,1ex.,岡本清<sup>5)</sup>  
 姫路市(広峰神社,26.III.1983,1♀,稲田和久<sup>1)</sup>  
 御津町(室津赤碓,5.III.1985,1♀,稲田和久<sup>1)</sup>  
 洲本市(宇山,29.XI.1981,1ex.,林俊雅<sup>22)</sup>  
 南淡町(阿万上町,23.XII.1958,-,藤平明<sup>26)</sup>)

## 28. *Rhynchaglaea scitula* (Butler) (3696)

### チャマダラキリガ

暖温帯性の種で、東北南部・福井以西～九州、対  
 馬、屋久島、奄美、沖縄に分布する。常緑カシ類の  
 林に固有の種で、アラカシ、アカガシなどを食べる。  
 年1回、やや遅く11月頃に羽化する。成虫で越冬し、

翌春再び活動する。県下では南部の低山地を中心に  
 記録され、場所にもよるが個体数は極めて多い。お  
 そらく県北部の低地にも分布していると思われる。  
 糖蜜によく集まる。

### 【採集記録】

神戸市(有馬,5.IV.1970,1♀,遊磨正秀<sup>16)</sup>:鴨子ヶ原2丁  
 目,21.V.1985,1♀,岡村八郎\*:布引公園,25.III.1983,  
 1♀;30.III.1983,1♂1♀;17.XI.1988,1♂;24.XI.1989,  
 1♂1♀,八木剛<sup>34)</sup>:同,16.III.1985,1♂,八木剛\*:鉢  
 伏山,1.XII.1989,6♂7♀;15.XII.1989,2♂;21.II.1990,  
 3♂3♀,八木剛<sup>34)</sup>:同,8.XII.1989,1♂,八木剛<sup>34)</sup>  
 川西市(笹谷,16.I.1983,1♀;20.III.1983,5♂2♀,夏秋ほ  
 か<sup>28)</sup>  
 黒田庄町(喜多,12.IV.1961,1ex.,岡本清<sup>5)</sup>  
 姫路市(豊富町神谷,18.III.1984,4♂,稲田和久<sup>1)</sup>:広峰  
 神社,26.III.1983,2♂,稲田和久<sup>1)</sup>  
 御津町(稲富,17.III.1983,2♀;26.II.1984,1♀,稲田和久<sup>1)</sup>  
 :室津赤碓,5.III.1983,1♂,稲田和久<sup>1)</sup>:室津賀茂神  
 社,3.III.1983,1♂,稲田和久<sup>1)</sup>  
 相生市(瓜生,17.III.1999,1♂,高島昭:三濃山,2.XII.  
 2000,5♂3♀;12.XII.2000,5♂2♀;22.XII.2000,4♂  
 5♀;22.II.2001,2♂1♀;6.III.2001,1♀;19.III.2001,1♂,  
 高島昭)  
 三日月町(下本郷,-.IV.-,-.III.1984,-,川副昭人<sup>8)</sup>:同,30.  
 III.1984,1♂,川副昭人\*)  
 津名町(大町畑,5.IV.1972,1♀,登日邦明<sup>23)</sup>  
 南淡町(阿万上町,8.IV.1976,-,藤平明<sup>26)</sup>)

## 29. *Rhynchaglaea fuscipennis* Sugi (3697)

### クロチャマダラキリガ

日本特産種で、前種と混生するところでは、本種  
 の方がやや高標高のところ産するようである。東  
 北南部・新潟県以西、四国、九州、対馬、屋久島に  
 分布する。年1回秋に出現し、成虫で越冬する。幼  
 虫はアラカシ、アカガシから得られている。県下  
 では神戸・阪神、西播磨、淡路地域で記録があるが、  
 県下全域の平地から低山地に広く分布するものと思  
 われる。また、発生地では個体数は多い。前種より  
 発生時期はやや遅いようで12月後半以降個体数が多  
 くなり、前種の活動が鈍る厳寒期もよく活動するよ  
 うである。

### 【採集記録】

神戸市(有馬,27.III.1971,1♂,遊磨正秀<sup>16)</sup>:伊川谷町,5.  
 IV.1998,1♂,高島昭:諏訪山公園,-.III.1990,-,山口  
 福男<sup>40)</sup>:布引公園,8.IV.1983,1♀;12.III.1983,1♂3♀;  
 26.III.1984,1♂1♀;24.XI.1989,1♀,八木剛<sup>34)</sup>:同,25.  
 III.1983,2♂,八木剛<sup>34)</sup>:鉢伏山,1.XII.1989,2♂3♀;  
 15.XII.1989,2♀;21.II.1990,11♂4♀,八木剛<sup>34)</sup>:摩耶  
 山,14.IV.1963,1♂;20.IV.1963,1♂,田中蕃<sup>21)</sup>)

川西市(一の鳥居,23.XI.1984,1♀;2.IV.1985,1♀,夏秋ほか<sup>28</sup>:黒川,8.I.1983,1♀,夏秋ほか<sup>28</sup>:笹部,16.I.1983,1♀;20.III.1983,2♀,夏秋ほか<sup>28</sup>:東多田,29.I.1983,1♂4♀,夏秋ほか<sup>28</sup>)

猪名川町(上阿古谷,6.IV.1983,1♂1♀,夏秋ほか<sup>28</sup>)

姫路市(豊富町神谷,18.III.1984,1♂,稲田和久<sup>1</sup>:そうめん滝,3.III.2000,1♂,高島昭)

御津町(室津赤碕,5.III.1983,3♂2♀;9.III.1983,2♂2♀;3.III.1984,2♂4♀;5.III.1985,1♀,稲田和久<sup>1</sup>:室津賀茂神社,3.III.1983,3♂2♀,稲田和久<sup>1</sup>)

相生市(瓜生,2.XII.1998,2♂;17.III.1999,1♂,高島昭:三濃山,13.IV.2000,1♂;2.XII.2000,1♂;22.XII.2000,6♂;22.II.2001,6♂1♀;6.III.2001,3♂,高島昭)

赤穂市(周世,29.XI.1998,1♂,高島昭)

上郡町(行頭,9.IV.1999,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.III.1984,-,川副昭人<sup>8</sup>)

洲本市(中津川,7.IV.1972,1♂,登日邦明<sup>29</sup>)

南淡町(灘黒岩,11.IV.1998,-,藤平明<sup>35</sup>)

### 30. *Mesorhynchaglaea pacifica* Sugi (3698)

#### ヤクシマキリガ

暖温帯性の蛾で、伊豆半島石廊崎を北限として渥美半島、和歌山県、大阪府、兵庫県、四国の瀬戸内海側、屋久島などで発見されている。ウバメガシ林に固有の種で、幼虫はウバメガシを食べる。発生は遅く、11月下旬頃から羽化し、成虫で越冬、翌春再び活動する。県下では神戸市、御津町、南淡町で記録があるが、西播南部、淡路各地など沿岸部でウバメガシをまじえた林があれば普通に分布しているものと思われる。発生地での個体数は少ないものではない。

#### [採集記録]

神戸市(-,-,-,-,-,-,<sup>2</sup>:伊川谷町,5.IV.1998,2♂,高島昭:新神戸駅,25.III.1983,1♀,八木剛<sup>38</sup>:鉢伏山,8.XII.

1989,2♂;15.XII.1989,1♂;26.XII.1989,3♂1♀;21.II.1990,16♂24♀,八木剛<sup>38</sup>)

御津町(室津赤碕,5.III.1983,10♂5♀;9.III.1983,2♀;3.III.1984,1♀;4.III.1984,1♀,稲田和久<sup>1</sup>:室津賀茂神社,12.III.1981,3exs.;16.III.1981,25exs.;14.III.1982,1♀;3.III.1983,10♂5♀,稲田和久<sup>1</sup>)

南淡町(阿万上町,8.IV.1976,-,藤平明<sup>35</sup>:灘黒岩,29.III.1998,-,藤平明<sup>35</sup>:福良向谷,26.III.1997,-,藤平明<sup>35</sup>)

### 31. *Hemiglaea costalis* (Butler) (3699)

#### キマエキリガ 注目種

日本特産種で、北海道から九州に至る本土域に分布する。年1回、10~11月に出現する。成虫で越冬することはないとされるが、三日月町では3月の報告がある。幼生期は未知である。県下での記録は

神戸市、三日月町、大屋町、洲本市と少ないながら平地から山地まで広く記録されている。活動時期が短く目に触れる機会が少ないのではないかと思われ、調査が進めば新しい産地は見つかると思われる。

#### [採集記録]

神戸市(摩耶山,17.XI.1984,1♀,岡村八郎<sup>38</sup>)

三日月町(下本郷,-.III.1984,-,川副昭人<sup>8</sup>)

大屋町(横河溪谷,6.XI.1999,2♂,高島昭)

洲本市(宇山,15.XI.1981,lex.,林俊雅<sup>28</sup>)

### 32. *Teratoglaea pacifica* Sugi (3700)

#### エグリキリガ 注目種

北海道から九州にかけて分布するが、局地的な分布を示す。対馬にも記録がある。年1回10月頃に出現し、成虫で越冬する。幼虫は北海道でアカトドマツから得られており、針葉樹食が示唆される。県下では三日月町での採集例が唯一であり、詳しい調査が必要である。おそらく内陸盆地から山地にかけて分布すると思われるが、局地的であることが予想される。

#### [採集記録]

三日月町(下本郷,-.V.1984,-,川副昭人<sup>8</sup>)

### 33. *Sugitania lepida* (Butler) (3701)

#### スギタニモンキリガ

本州から九州に至る本土域と対馬に産する。年1回秋遅く11月から出現する。成虫で越冬しない。幼虫はツバキの花を食べるといふ。県下では南部の平坦地から低山地を中心に記録があるが、氷ノ山のような高標高地でも得られている。糖蜜によく集まり、照葉樹を交えた二次林では決して少ないものでない。

#### [採集記録]

神戸市(布引公園,17.XI.1988,9♂7♀,八木剛<sup>38</sup>:10.XI.1989,2♂;17.XI.1989,2♂2♀,八木剛<sup>38</sup>:鉢伏山,1.XII.1989,3♂1♀;15.XII.1989,1♀,八木剛<sup>38</sup>:同,8.XII.1989,1♀,八木剛<sup>38</sup>:摩耶山,17.XI.1984,lex.,岡村八郎<sup>38</sup>)

川西市(笹部,16.I.1983,1♀,夏秋ほか<sup>28</sup>)

姫路市(広峰神社,26.III.1983,1♂2♀,稲田和久<sup>1</sup>)

御津町(稲富,4.II.1984,1♀,稲田和久<sup>1</sup>)

相生市(瓜生,2.XII.1998,1♂,高島昭:三濃山,12.XII.2000,3♂7♀;22.XII.2000,2♂3♀,高島昭)

豊岡市(正法寺,4.I.1999,lex.,柴田剛)

関宮町(氷ノ山,2.XI.1991,3♂3♀,八木剛<sup>38</sup>)

洲本市(物部,22.XI.1980,lex.,林俊雅<sup>28</sup>)

南淡町(灘大川,21.III.1996,-,藤平明<sup>35</sup>:沼島,2.XII.1991,1♂,八木剛<sup>38</sup>)



34. *Sugutania clara* Sugi (\*\*\*\*)

## ヤマノモンキリガ 注目種

スギタニモンキリガから1990年に分離された。

前種との棲み分けなど詳しいことは不明であるが、従来からツバキの自生しない地域で採集されていたスギタニモンキリガは本種である可能性が高いという。スギタニモンキリガの記録は再度点検してみる必要がある。

幼虫の食性は不明である。これまでのところ、大阪府との境にある能勢妙見山で記録があるが、その他に県下からは見つかっていない。

## 【採集記録】

能勢妙見山(10.XI.1984,1♂,夏秋ほか<sup>29</sup>)

35. *Sugutania akirai* Sugi (\*\*\*\*)

## スミレモンキリガ 注目種

ヤマノモンキリガとともに1990年にスギタニモンキリガから分離され、新しく記載された種で、原記載では大阪府茨木市のほか愛知県、徳島県、大分県が産地としてあがっているが全国的な分布状況等は不明である。スギタニモンキリガと同じく暖温帯性の種であるらしい。スギタニモンキリガよりもやや小型で胸部は濃赤褐色、前翅は暗紫灰色で黄土色を帯びない。環状紋の中央に黒点があり、腎状紋内部及び中央部は赤みを帯びる。亜外縁線はやや赤みを帯びた小黒点列からなり細かい波状を呈する。

これまでのところ、県下からは生野町から報告されているほか、人と自然の博物館収蔵標本の中から摩耶山産の本種を見出している。大阪府では能勢町や箕面市で少ないながら得られており、局地的ながら県下南部の低山地では発見される可能性が高い。

## 【採集記録】

神戸市(摩耶山,17.XI.1984,1♂,岡村八郎\*)

生野町(生野高原,6.XI.1993,2♂,柳田慶浩<sup>39</sup>)

36. *Agrochola vulpecula* (Lederer) (3702)

## ツチイロキリガ 注目種

日本では局地的な分布を示し、青森県焼山、早池峰山麓、盛岡市、岩手岩泉町、黒部谷、高瀬川上流部、上高地、平湯などで記録がある。年1回、9月末から出現し、成虫で越冬することはないとされている。県下からは波賀町で得られた1例が報告されている。本種が兵庫県に分布する可能性は否定できないのでここでは一応リストに含めておくが、詳しい調査が必要である。

## 【採集記録】

波賀町(引原,31.X.1981,2♂,稲田和久<sup>1</sup>)

37. *Agrochola evelina* (Butler) (3703)

## フサヒゲオビキリガ

北海道、本州、四国の瀬戸内海側、小豆島に記録がある。クヌギを含む暖温帯性の二次林がその生息地域である。年1回、秋に出現し、成虫で越冬する。県下では南部の低地にのみ記録がある。灯火に集まらないため目に触れる機会が少ない種の一つであるが、春先の糖蜜採集の結果では個体数は決して少なくないようで、おそらく県下の低地二次林には広く生息していると思われる。

## 【採集記録】

神戸市(布引公園,12.III.1983,1♀;25.III.1983,2♀;30.III.1983,2♀;17.XI.1988,1♂;10.XI.1989,1♂1♀,八木剛<sup>38</sup>:同,16.III.1985,1♀,八木剛<sup>38\*</sup>:鉢伏山,1.XII.1989,3♂;15.XII.1989,1♂;26.XII.1989,1♀;21.II.1990,2♂1♀,八木剛<sup>38</sup>)

川西市(笹部,16.I.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>:東多田,21.XII.1983,1♂;24.II.1983,1♂;29.I.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)

猪名川町(上阿古谷,5.II.1983,1♂;6.IV.1983,1♂;10.

XII.1983,1♂;27.III.1984,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)

姫路市(太市,21.III.1995,1♀,高島昭)

御津町(稲富,17.III.1983,1♀;26.III.1984,1♂,稲田和久<sup>1</sup>:室津赤碕,5.III.1983,2♀;9.III.1983,2♀,;3.III.1984,5♀,稲田和久<sup>1</sup>)

38. *Conistra aedescens* (Butler) (3705)

## カシワオビキリガ

暖温帯林に優勢な種で、関東南部、長野、岐阜、近畿、四国で採集されているが、局地的な分布を示すという。年1回秋に出現し、成虫で越冬する。幼生期は不明である。県下では南部の低山地に限られているが、生息地域では案外普遍的な分布をするのではないと思われる。

## 【採集記録】

神戸市(布引公園,12.III.1983,2♂1♀,八木剛<sup>38</sup>:鉢伏山,26.XII.1989,1♂1♀;21.II.1990,6♂2♀,八木剛<sup>38</sup>:同,8.XII.1989,1♀,八木剛<sup>38\*</sup>)

川西市(一の鳥居,24.III.1985,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>:東多田,19.III.1983,2♂1♀,夏秋ほか<sup>28</sup>)

猪名川町(上阿古谷,6.IV.1983,1♂;27.III.1984,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)

姫路市(太市,21.III.1995,1♂,高島昭:そうめん滝,3.III.2000,1♂,高島昭)

御津町(稲富,26.II.1984,2♂,稲田和久<sup>1</sup>)

相生市(瓜生,8.III.1997,1♂,高島昭<sup>14</sup>)

三日月町(下本郷,-.III.1984,-,川副昭人<sup>4</sup>)

39. *Conistra grisescens* Draudt (3706)

## ミヤマオビキリガ

北海道から九州まで分布する。低丘陵地の二次林

や内陸の陽性林に普通に見られる。年1回、秋に出現し、成虫で越冬する。県下では比較的記録が少なく、主に南部の低標高地で得られているが、筆者は氷ノ山でも確認しており垂直分布は案外広いようである。県北部を含む二次林に広く産するものと思われる。

#### 【採集記録】

神戸市(伊川谷町,5.IV.1998,7♂,高島昭:諏訪山公園,-XL1990,-,山口福男<sup>10</sup>:布引公園,16.III.1985,1♂,八木剛<sup>33</sup>:鉢伏山,15.XII.1989,1♀,八木剛<sup>34</sup>)  
 川西市(一の鳥居,6.IV.1985,1♀,夏秋ほか<sup>28</sup>:笹部.20.III.1983,2♂,夏秋ほか<sup>28</sup>:東多田,24.II.1981,1♂;27.III.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,6.IV.1983,1♂3♀;27.III.1984,4♂1♀,夏秋ほか<sup>28</sup>)  
 相生市(瓜生,25.II.1997,1♂,高島昭<sup>14</sup>:三瀧山,6.III.2001,1♂,高島昭)  
 上郡町(八保,9.IV.1999,1♂,高島昭)  
 大屋町(氷ノ山,5.V.2000,1♂,高島昭)  
 南淡町(阿万上町,26.III.1985,-,藤平明<sup>34</sup>)

#### 40. *Conistra fletcheri* Sugi (3707)

##### テンスジキリガ

北海道から九州までの本土域に広く分布している。低標高地の二次林にはミヤマオビキリガの方が多いう。年1回、秋に発生し、成虫で越冬する。県下では主に南部の低山地帯で得られているが、筆者は大屋町でも確認しており、山間部にも広く分布すると思われる。森林性の蛾ということであるが宝塚市では市街地でも得られている。

#### 【採集記録】

神戸市(布引公園,12.III.1983,2♂1♀;25.III.1983,1♂,八木剛<sup>33</sup>:同,12.III.1983,1♀;30.III.1983,1♂,八木剛<sup>33</sup>\*:鉢伏公園,21.II.1990,1♂,八木剛<sup>33</sup>:摩耶山,-,-,-,岡村八郎<sup>3</sup>:同,18.XI.1984,1♀;14.III.1985,1♂;14.III.1985,2♂,岡村八郎<sup>3</sup>:同,-,-,-,田中蕃<sup>30</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,27.III.1984,2♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)  
 宝塚市(南口2丁目,5.V.1989,-,八木剛<sup>33</sup>)  
 姫路市(そうめん滝,11.II.2000,2♂;3.III.2000,1♂;18.III.2000,1♂,高島昭)  
 相生市(三瀧山,22.II.2001,2♂;6.III.2001,1♂,高島昭)  
 上郡町(行頭,7.IV.1995,1♂1♀,高島昭<sup>11</sup>)  
 三日月町(下本郷,-.III.1984,-,-.V.1984,-,川副昭人<sup>4</sup>)  
 大屋町(氷ノ山,5.V.2000,1♂,高島昭:横行溪谷,6.XI.1999,2♂,高島昭)

#### 41. *Conistra albipuncta* (Leech) (3708)

##### ホシオビキリガ

北海道から九州に至る本土域に普通に産する。山

地の森林地帯より開放地や二次林に多い。年1回秋に発生し、成虫で越冬する。県下では神戸・阪神地域と西播地域で記録が多く、これらの地域では普通に産する。おそらく記録のない地域でも低地二次林に普通に生息するものと思われる。

#### 【採集記録】

神戸市(有馬,16.III.1971,1♀,遊磨正秀<sup>45</sup>:布引公園,12.III.1983,8♂1♀;30.III.1983,1♂,八木剛<sup>33</sup>\*:鉢伏山,1.XII.1989,2♀;15.XII.1989,1♂5♀;21.II.1990,15♂18♀,八木剛<sup>33</sup>:同,8.XII.1989,1♂2♀,八木剛<sup>33</sup>\*:摩耶山,17.XI.1984,2♂,岡村八郎<sup>33</sup>)  
 西宮市(生瀬,5.IV.1972,1♀,遊磨正秀<sup>45</sup>)  
 川西市(黒川,9.XI.1996,1♂;3.V.1997,1♀,高島昭<sup>13</sup>:東多田,21.XII.1983,2♂;29.I.1983,1♂;29.III.1984,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,5.II.1983,1♀;27.III.1984,1♂1♀,夏秋ほか<sup>28</sup>)  
 姫路市(豊宮町神谷,18.III.1984,5♂,稲田和久<sup>1</sup>:広畑区下野,10.III.1981,1♀,稲田和久<sup>1</sup>:広峰神社,26.III.1983,2♂,稲田和久<sup>1</sup>:そうめん滝,11.II.2000,5♂;3.III.2000,1♂;18.III.2000,4♂1♀,高島昭)  
 大河内町(長沢,29.IV.2000,1♂,高島昭)  
 御津町(稲富,17.III.1983,1♀,稲田和久<sup>1</sup>:室津赤碓,9.III.1983,3♂7♀,稲田和久<sup>1</sup>:室津賀茂神社,3.III.1983,1♀,稲田和久<sup>1</sup>)  
 波賀町(引原,28.IV.1988,1♀,高島昭<sup>10</sup>)  
 相生市(三瀧山,24.III.1983,2♀,稲田和久<sup>1</sup>:同,12.XII.2000,1♂;22.XII.2000,1♂;22.II.2001,5♂;6.III.2001,7♂2♀;19.III.2001,2♂,高島昭)  
 三日月町(下本郷,-.III.1984,-,川副昭人<sup>4</sup>)  
 大屋町(横行溪谷,6.XI.1999,1♂,高島昭)

#### 42. *Conistra nawae* Matsumura (3709)

##### ナワキリガ

暖温帯性の種で、高尾山、岐阜山、近畿、四国、九州、対馬、奄美、沖縄に分布する。常緑カシ林に優勢な種である。年1回10月頃に出現し、成虫で越冬する。県下では神戸・北摂地域と中・西播地域で記録があり、常緑広葉樹が多い低山地ではきわめて普通に産する。淡路を含む県南部や但馬沿岸部にも広く分布していると思われる。

#### 【採集記録】

神戸市(布引公園,25.III.1983,3♂;30.III.1983,2♂,八木剛<sup>33</sup>:同,16.III.1985,3♂5♀,八木剛<sup>33</sup>\*:鉢伏山,1.XII.1989,2♀;15.XII.1989,3♂3♀;26.XII.1989,1♀;21.II.1990,3♂5♀,八木剛<sup>33</sup>:同,8.XII.1989,4♂4♀,八木剛<sup>33</sup>\*)  
 川西市(笹部,16.I.1983,3♂,夏秋ほか<sup>28</sup>:東多田,19.III.1983,2♂;21.XII.1983,1♂;29.I.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)

猪名川町(上阿古谷,6.IV.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28)</sup>)  
 姫路市(豊富町神谷,18.III.1984,8♂,稲田和久<sup>1</sup>: 広峰  
 神社,26.III.1983,5♂1♀,稲田和久<sup>1</sup>: そうめん滝,3.  
 III.2000,1♂;18.III.2000,2♂,高島昭)  
 御津町(稲富,17.III.1983,2♀,稲田和久<sup>1</sup>)  
 波賀町(引原,21.X.1997,1♂,高島昭)  
 相生市(瓜生,8.III.1997,1♂,高島昭<sup>14</sup>: 同,17.III.1999,  
 2♂,高島昭: 三瀨山,2.XII.2000,6♂3♀;12.XII.2000,  
 2♂2♀;22.XII.2000,3♂2♀;22.II.2001,1♂;6.III.2001,  
 1♂;19.III.2001,1♂,高島昭)  
 赤穂市(周世,29.XI.1998,1♂,高島昭)

#### 43. *Dasyampa castaneofasciata* (Motschulsky)

##### (3710) ゴマダラキリガ

北海道から九州にかけての本土域に分布する。10  
 月に出現し、成虫で越冬する。幼虫はクヌギから見  
 出されている。県下では神戸市、西宮市、川西市、  
 相生市から得られているが個体数は少なく、また、  
 他の地域からは報告がない。全国的には広い分布を  
 するようであるが兵庫県では局地的で少ない種と思  
 われる。相生市の産地ではクヌギの代替種であるア  
 ベマキが見られ、これを食樹としている可能性がある。

##### [採集記録]

神戸市(布引公園,16.III.1985,1♀,八木剛<sup>28</sup>: 鉢伏山,  
 26.XII.1989,1♂;21.II.1990,1♀,八木剛<sup>28)</sup>)  
 西宮市(生瀬,8.XII.1971,1♂,遊磨正秀<sup>45)</sup>)  
 川西市(笹部,20.III.1983,1♀,夏秋ほか<sup>28</sup>: 東多田,19.  
 III.1983,1♀,夏秋ほか<sup>28)</sup>)  
 相生市(三瀨山,22.XII.2000,1♂,高島昭)

#### 44. *Orbona fragariae* (Vieweg) (3711)

##### イチゴキリガ 注目種

ユーラシア種で北海道から四国まで分布するが、  
 西南日本では少ない。10月頃に羽化し、成虫で越冬  
 する。灯火に飛来することが少なく、春の糖蜜採集  
 が有効である。各種の植物で飼育可能である。県下  
 では永らく神戸市藍那で記録された1例のみが知ら  
 れていたが、明石市で得られたとの情報もある。こ  
 れまでの調査が十分でないためははっきりとした分布  
 状況は不明であるが、局地的ながら平地から里山地  
 域を中心に分布していると思われる。

##### [採集記録]

神戸市(藍那,12.IV.1983,1♂,松本健嗣<sup>27)</sup>)

#### 45. *Jodia sericea* Butler (3716)

##### ミスジキリガ

やや局地的な分布を示し、本州、四国の瀬戸内海  
 沿岸、北九州に分布する。西南日本では二次林と結

びついていると考えられるが、東北地方ではカシワ  
 林から得られる。年1回、10月に羽化し、成虫で越  
 冬する。食樹はクヌギ。県下では神戸市、北摂地域  
 と御津町からの報告があるのみで、局地性が強い種  
 といえる。

##### [採集記録]

神戸市(布引公園,12.III.1983,1♂1♀;30.III.1983,3♀;  
 16.III.1985,1♂;24.XI.1989,1♂,八木剛<sup>28)</sup>)  
 川西市(笹部,20.III.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>: 東多田,27.  
 III.1983,1♀;29.I.1983,1♀,夏秋ほか<sup>28)</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,6.IV.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28)</sup>)  
 御津町(室津赤碓,9.III.1983,4♀,稲田和久<sup>1</sup>: 室津賀  
 茂神社,26.III.1983,1♀,稲田和久<sup>1</sup>)

#### 46. *Telorta acuminata* (Butler) (3717)

##### ウスキトガリキリガ

日本特産種で、本州から九州にかけての本土域と  
 対馬から得られている。年1回、晩秋に出現する。  
 成虫で越冬することはないと思われる。幼虫はバラ  
 科を食べることが知られている。県下では低山地を  
 中心に分布は広いと思われる。なお、豊岡市からの  
 記録は5月に採集されたことになっており、他種と  
 混同されている可能性が高い。産地における個体数  
 は近縁3種のうち最も少ないようである。

##### [採集記録]

神戸市(有馬,12.XI.1947,1♂,東正雄<sup>19</sup>: 世継山,23.XI.  
 1991,1♀,岡村八郎\*)  
 川西市(一の鳥居,10.XI.1984,1♀;23.XI.1984,1♂,夏秋  
 ほか<sup>28)</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,10.XII.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28)</sup>)  
 黒田庄町(喜多,1.I.1962,1ex.;10.XII.1962,1ex.,岡本清  
 \*)

安富町(-,15.X.1994,1♂,二井清友\*)

三日月町(下本郷,-,X.1984,-,川副昭人\*)

豊岡市(正法寺,4.XI.1998,1ex.;24.XI.1998,1ex.,柴田剛  
 : 山本,27.V.1973,-,山根政之<sup>18)</sup>)

大屋町(横行溪谷,6.XI.1999,1♂,高島昭)

水上郡(-,-,-,山本義丸<sup>11)</sup>)

洲本市(宇山,8.XI.1981,1ex.;16.XI.1981,1ex.;20.XI.  
 1981,1ex.,林俊雅<sup>29)</sup>)

南淡町(阿万上町,22.XI.1973,-,藤平明<sup>35</sup>: 同,28.XI.  
 1986,-,藤平明<sup>34</sup>: 同,3.XII.1991,-,藤平明<sup>35)</sup>)

#### 47. *Telorta edentata* (Leech) (3718)

##### キトガリキリガ

北海道と本州、対馬から得られている。10~11月  
 に出現し、成虫で越冬しない。幼生期については未  
 知である。県南部からの報告が多い。平地から山地  
 まで普遍的に分布し、灯火にもよく飛来する。丹波

地域にも分布すると思われる。

[採集記録]

神戸市(有馬,1.XI.1987,1♂,東正雄<sup>19</sup>:住吉山手9丁目,14.XI.1985,1♂,岡村八郎\*:布引公園,10.XI.1989,1♂2♀,八木剛<sup>38</sup>:鉢伏山,1.XII.1989,1♂1♀;15.XII.1989,1♀,八木剛<sup>38</sup>:摩耶山,26.XI.1967,1♂,岡村八郎<sup>3</sup>:同,8.XI.1984,2♂,岡村八郎\*:同,4.XI.1985,2♂1♀,岡村八郎\*:世継山,23.XI.1991,3♀,岡村八郎\*)

川西市(黒川,9.XI.1996,2♂1♀,高島昭<sup>13</sup>)

猪名川町(上阿古谷,10.XII.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)

黒田庄町(喜多,14.XI.1962,1ex.,岡本清<sup>5</sup>)

大河内町(長沢,29.X.1999,1♂,高島昭)

安富町(大河渓谷,14.XI.1998,1♂,高島昭:皆河,15.XI.1988,1♂,高島昭)

波賀町(引原,22.X.1975,3♂,遊磨正秀<sup>46</sup>:同,31.X.1981,1♂,稲田和久<sup>1</sup>:同,4.XI.1988,1♂;19.X.1988,1♂,高島昭<sup>10</sup>:同,12.XI.1997,1♀,高島昭:坂の谷林道,2.XI.1991,3♂5♀,八木剛\*)

相生市(瓜生,2.XII.1998,1♂,高島昭:三瀬山,2.XII.2000,1♂,高島昭)

赤穂市(西有年,15.XII.1998,1♂,高島昭)

上郡町(上郡,26.XI.1997,1♂,高島昭)

竹野町(森本,25.XI.1998,1ex.,柴田剛)

大屋町(横河渓谷,6.XI.1999,1♂1♀;8.X.1999,4♂,高島昭)

南淡町(阿万上町,6.XII.1985,-,藤平明<sup>36</sup>)

48. *Telorta divergens* (Butler) (3719)

ノコメトガリキリガ

北海道から九州に至る本土域に分布する。年1回、晩秋の10~11月に出現する。成虫では越冬しない。幼虫はバラ科、ツバキ科を食べる。県下では平地から低山地にかけて広く分布する。本属の3種は混生地も多く、棲み分けをしているかどうかは定かでない。

[採集記録]

神戸市(有馬,16.XI.1967,1♂,岡村八郎<sup>3</sup>:諏訪山公園,-.XI.1998,-,山口福男<sup>40</sup>:布引公園,17.XI.1989,1♂1♀;24.XI.1989,2♂,八木剛<sup>38</sup>:鉢伏山,1.XII.1989,3♂9♀;15.XII.1989,6♂7♀;26.XII.1989,2♂1♀,八木剛<sup>38</sup>:世継山,14.XI.1991,1♀;23.XI.1991,1♀,岡村八郎\*)

西宮市(仁川,1.XII.1969,1♂,遊磨正秀<sup>46</sup>)

川西市(一の鳥居,10.XI.1984,1♀;23.XI.1984,1♂1♀,夏秋ほか<sup>28</sup>:黒川,1.XI.1997,1♂,高島昭<sup>13</sup>)

黒田庄町(喜多,17.XI.1960,1ex.;24.XI.1962,1ex.,岡本清<sup>5</sup>)

姫路市(そうめん滝,29.X.1999,1♂,高島昭)

大河内町(長沢,29.X.1999,1♂,高島昭)

波賀町(引原,31.X.1981,1♂,稲田和久<sup>1</sup>:坂の谷,2.XI.1991,1♂,八木剛\*)

三日月町(下本郷,-.X.1984,-,-.XI.1984,-,川副昭人<sup>4</sup>)

豊岡市(山本,4.XII.1973,-,山根政之<sup>18</sup>)

大屋町(氷ノ山,1.X.1999,1♂,高島昭:横河渓谷,6.XI.1999,1♂2♀;8.X.1999,1♀,高島昭)

水上郡(-,-,-,-,山本義丸<sup>11</sup>)

三原町(八木養宜,-.XII.1991,-,藤富正昭<sup>33</sup>)

南淡町(阿万上町,8.XI.1960,-;27.XI.1961,-,藤平明<sup>36</sup>:同,19.XI.1990,-,藤平明<sup>36</sup>:沼島,2.XII.1991,3♂,熊代直生\*:同,2.XII.1991,1♂,八木剛\*)

49. *Antivaleria viridimacula* (Graeser) (3720)

アオバハガタヨトウ

北海道から九州にかけての本土域に分布する。年1回、10~11月に出現するが、成虫で越冬しない。幼虫は各種の樹木につく。県下では全域で記録があり広く分布する。なお、南淡町からは6月採集の記録があるが、他種との混同(ホソバミドリヨトウ?)かデータ記載の誤りと思われるのでリストからは省いておく。

[採集記録]

神戸市(藍那,20.XI.1987,1♀,中川俊夫\*:諏訪山公園,-.XI.1987,-,山口福男<sup>40</sup>:鉢伏山,1.XII.1989,3♀;8.XI.1989,1♀,八木剛<sup>38</sup>:摩耶山,29.X.1967,1♂,岡村八郎<sup>3</sup>:世継山,7.XI.1991,1♀;23.XI.1991,1♀,岡村八郎\*)

西宮市(生瀬,16.IX.1971,1♂,遊磨正秀<sup>46</sup>)

川西市(黒川,1.XI.1997,2♂1♀,高島昭<sup>13</sup>)

猪名川町(上阿古谷,10.XII.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)

宝塚市(武田尾,20.X.1991,1♂,東たか<sup>19</sup>)

黒田庄町(喜多,14.XII.1962,1ex.,岡本清<sup>5</sup>)

夢前町(山富,28.XI.1998,5♂,高島昭)

安富町(大河渓谷,4.XII.1998,1♂;21.X.1998,1♂;22.XI.1998,2♂2♀,高島昭)

波賀町(引原,19.X.1988,1♂,高島昭<sup>10</sup>:同,12.XI.1997,2♂2♀,高島昭)

相生市(三瀬山,12.XII.2000,2♂;22.XII.2000,2♂,高島昭)

竹野町(森本,17.XI.1998,1ex.,柴田剛)

和田山町(久世田,22.X.1998,1ex.,柴田剛)

大屋町(横河渓谷,6.XI.1999,2♂;8.X.1999,1♂,高島昭)

水上郡(-,-,-,-,山本義丸<sup>11</sup>)

洲本市(厚浜,21.XI.1976,-;18.XI.1978,-,藤富正昭<sup>33</sup>:宇山,29.XI.1981,1ex.,林俊雅<sup>32</sup>)

南淡町(阿万上町,14.XII.1962,-,藤平明<sup>36</sup>:同,28.XI.1986,-,藤平明<sup>36</sup>)

50. *Nyctycia strigidisca* (Moore) (3721)

## ヒマラヤハガタヨトウ

暖温帯性の種で、高尾山、弥彦山以西の本州と四国、九州、屋久島の山地に分布する。年1回、晩秋の11月に出現するが成虫越冬はしない。兵庫県からは永らく記録がなかったが、最近になって西播北部と北但地域の山地帯で見ついている。また、人と自然の博物館の収蔵標本の中からも摩耶山産と沼島産の本種を確認している。小型種のため発見しにくいものと思われ、低山地の常緑樹林を調査すれば産地が発見される可能性は高い。

## 【採集記録】

神戸市(摩耶山,10.XI.1984,1♂;4.XI.1985,1♀,岡村八郎\*)

安富町(大河溪谷,14.XI.1998,1♀,高島昭<sup>16</sup>)

波賀町(引原,21.X.1997,1♂,高島昭<sup>16</sup>)

竹野町(森本,17.XI.1998,lex.,柴田剛)

南淡町(沼島,2.XII.1991,1♀,八木剛\*)

から1月まで見られるが成虫では越冬しない。県下では南部の低山地に分布の中心があるように思われる。晩秋から冬にかけての調査はあまり行われていないのが実状で、おそらく平地から低山地にかけて広く分布しているだろう。

## 【採集記録】

神戸市(摩耶山,4.XI.1985,1♀,岡村八郎<sup>3\*</sup>:世継山,7.I.1991,1♀,岡村八郎\*)

川西市(一の鳥居,23.XI.1984,2♀,夏秋ほか<sup>28</sup>:東多田,16.XI.1983,2♀,夏秋ほか<sup>28</sup>)

宝塚市(宝梅1丁目,6.XI.1986,1♂,東正雄<sup>19</sup>)

黒田庄町(喜多,27.X.1961,lex.;31.X.1961,lex.,岡本清<sup>5</sup>)

安富町(大河溪谷,14.XI.1998,1♂,高島昭)

波賀町(引原,11.X.1975,6♂,遊磨正秀<sup>46</sup>:同,12.XI.1997,1♀;21.X.1997,1♂,高島昭)

和田山町(久世田,21.X.1998,lex.,柴田剛)

大屋町(横行溪谷,6.XI.1999,1♂,高島昭)

51. *Nyctycia hoenei* (Boursin) (3723)

## ヘーネアオハガタヨトウ

暖温帯性の種で、東京都高尾山を北限として東海地方から西の本州、四国、九州にわたって分布する。常緑カシ林が保存されているところではまれでないという。年1回、晩秋11月頃に出現し、1~2月頃まで見られる。県下では県南部で記録がある。やや局地的であると思われるが、カシ類のある低山地を探せばまだまだ産地はみつかると思う。灯火に飛来し糖蜜採集も有効である。筆者の相生市での観察例では個体数は極めて多く、全キリガ類中でもナワキリガと並んで最も普通に見られた。

## 【採集記録】

神戸市(布引公園,17.XI.1988,2♂,八木剛<sup>38</sup>:摩耶山,8.XI.1984,4exs.,岡村八郎<sup>3</sup>:同,17.XI.1984,1♂,岡村八郎\*)

川西市(一の鳥居,23.XI.1984,2♀,夏秋ほか<sup>28</sup>:黒川,23.XI.1984,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>:東多田,16.XI.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)

猪名川町(上阿古谷,X.12.1983,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)

黒田庄町(喜多,14.XII.1962,lex.,岡本清<sup>5</sup>)

相生市(瓜生,2.XII.1998,2♂,高島昭:三濃山,2.XII.2000,5♂5♀;12.XII.2000,3♂1♀;22.XII.2000,1♂2♀,高島昭)

三日月町(下本郷,-.XI.1984,-,川副昭人<sup>6</sup>)

南淡町(灘黒岩,27.XII.1997,-,藤平明<sup>25</sup>)

52. *Mniotype melanodonta* (Hampson) (3725)

## オオハガタヨトウ

北海道から九州に至る本土域に分布する。10月頃

53. *Meganephria funesta* Leech (3727)

## ホンバハガタヨトウ

日本特産種。本州から九州にかけての本土域に普通である。年1回、晩秋の11月頃に出現し、成虫では越冬しない。食樹はケヤキである。県下では比較的採集例が少ないが、これは調査不足にもよると思われ、平地から低山地にかけて広く分布するものと思われる。

## 【採集記録】

神戸市(布引,24.XI.1989,1♂,森谷正之\*:布引公園,17.XI.1988,1♂,八木剛<sup>38</sup>:同,24.XI.1989,1♂,八木剛<sup>38</sup>:摩耶山,10.XI.1984,1♂,岡村八郎<sup>3\*</sup>:世継山,30.I.1991,1♂,岡村八郎\*)

川西市(一の鳥居,10.XI.1984,1♂,夏秋ほか<sup>28</sup>)

黒田庄町(喜多,27.X.1961,lex.,岡本清<sup>5</sup>)

波賀町(坂の谷林道,2.XI.1991,3♂,八木剛\*)

三日月町(下本郷,-.XI.1984,-,川副昭人<sup>6</sup>)

大屋町(横行溪谷,6.XI.1999,1♂,高島昭)

54. *Meganephria cinerea* (Butler) (3728)

## ハイロハガタヨトウ 注目種

北海道真狩村と岩手県から兵庫県にかけての本州、大分県黒岳に産するが、局地的な分布を示す。食樹はハルニレ、オヒョウが知られている。年1回、10月頃出現し、成虫越冬はしない。波賀町で1例記録があるが、今のところそれ以外には知られていない。県下における本種の分布は食樹の分布を考えるとわめて局地的と思われる。今後播但山地、氷ノ山周辺、鉢伏山系をはじめとする北但地域での発見が期待される。

兵庫県におけるセダカモクメ亜科分布一覧表

2001.3.31現在	神	阪	中	中	西	西	南	北	丹	淡	淡	記	備	考
種名	戸	神	東	東	播	播	但	但	波	路	路	録		
		北	播	播	南	北				北	南	地		
		摂	南	北	部	部				部	部	数		
1. ハイイロセダカモクメ	○	○		○		○						5		
2. セダカモクメ		○				○	○	○				4	注目種	
3. アオモンギンセダカモクメ			○									1	注目種	
4. ホソバセダカモクメ	○	○										7		
5. キクセダカモクメ	○	○	○	○		○	○	○				10		
6. ケンモンミドリキリガ	○	○	○	○		○		○			○	18		
7. ナカオビキリガ	○	○		○	○						○	12		
8. プライヤオビキリガ		○		○		○						3	注目種	
9. ホソバオビキリガ	○			○								2	注目種	
10. アヤモクメキリガ	○		○	○	○				○		○	7		
11. ハネナガモクメキリガ	○	○	○		○	○					○	14		
12. キバラモクメキリガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	33		
13. ハンノキリガ	○	○			○	○	○	○			○	18		
14. カシワキボシキリガ	○	○			○	○					○	13		
15. シロクビキリガ						○						1	注目種	
16. ウスアオキリガ	○					○						2	注目種	
17. カタハリキリガ						○						1	注目種	
18. ナカグロホソキリガ						○	○					3	注目種	
19. アメイロホソキリガ						○	○					2	注目種	
20. コケイロホソキリガ				○			○					2	注目種	
21. サヌキキリガ	○	○			○							4	注目種	
22. ミツボシキリガ	○	○	○		○	○					○	10		
23. ムラサキミツボシキリガ						○						2	注目種	
24. カバイロミツボシキリガ						○						1	注目種	
25. ヨスジノコメキリガ	○	○	○		○							9		
26. ヨスジキリガ						○						3	注目種	
27. ウスミモンキリガ	○	○	○		○	○					○	7		
28. チャマダラキリガ	○	○	○	○	○	○				○	○	16		
29. クロチャマダラキリガ	○	○	○		○						○	22		
30. ヤクシマキリガ	○				○						○	8		
31. キマエキリガ	○				○		○				○	4	注目種	
32. エグリキリガ					○							1	注目種	
33. スギタニモンキリガ	○	○	○		○		○	○			○	13		
34. ヤマノモンキリガ		○										1	注目種	
35. スミレモンキリガ	○						○					2	注目種	
36. ツチイロキリガ						○						1	注目種	
37. フサヒゲオビキリガ	○	○	○		○							8		
38. カシワオビキリガ	○	○	○		○							10		
39. ミヤマオビキリガ	○	○			○		○				○	13		
40. テンスジキリガ	○	○	○		○		○					11		
41. ホシオビキリガ	○	○	○	○	○	○	○					20		
42. ナワキリガ	○	○	○		○	○						13		
43. ゴマダラキリガ	○	○			○							6		
44. イチゴキリガ	○											1	注目種	
45. ミスジキリガ	○	○			○							6		
46. ウスキトガリキリガ	○	○		○	○	○	○	○	○		○	13		

種名	神 戸	阪 神 北 摂	中 東 播 南 部	中 東 播 北 部	西 播 南 部	西 播 北 部	南 但 但	北 但 但	丹 波	淡 路 北 部	淡 路 南 部	記 録 地 数	備 考
47. キトガリキリガ	○	○		○	○	○	○	○			○	21	
48. ノコメトガリキリガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	21	
49. アオバハガタヨトウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	21	
50. ヒマラヤハガタヨトウ	○					○		○			○	5	
51. ヘーネアオハガタヨトウ	○	○		○	○						○	11	
52. オオハガタヨトウ	○	○		○		○	○					10	
53. ホソバハガタヨトウ	○	○		○	○	○	○					9	
54. ハイイロハガタヨトウ						○						1	注目種
55. ミドリハガタヨトウ				○	○	○		○	○		○	7	
	39	34	19	19	32	31	18	11	6	2	22		

[採集記録]

波賀町(音水,24.X.1978,1♂,木下總一郎<sup>9)</sup>)

55. *Meganephria extensa* (Butler) (3729)

ミドリハガタヨトウ

北海道から九州までの本土域に分布するが四国からは記録がない。年1回、10月下旬から11月に出現する。成虫で越冬しない。幼虫はケヤキを食べるといふ。県下での記録は南東部から南但地域にかけて大きな空白域があるが、これは調査不足によるもので、おそらく平地から低山地にかけて広く分布すると思われる。ミドリヨトウともいう。

[採集記録]

大河内町(長沢,29.X.1999,1♂1♀,高島昭)

安富町(大河渓谷,4.XII.1998,1♂,高島昭)

波賀町(引原,4.XI.1988,1♂,高島昭<sup>10)</sup>: 同,12.XI.1997,2♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.XI.1984,-,川副昭人<sup>4)</sup>)

竹野町(森本,25.XI.1998,1ex.;5.I.1999,1ex.,柴田剛)

柏原町(柏原,-.-.-,山本義丸<sup>42)</sup>)

南淡町(阿万上町,5.XII.1991,-,藤平明<sup>35)</sup>)

<今後記録される可能性のある種>

1. *Cucullia mandshuriae* Oberthür (3652)

ダイセンセダカモクメ

局地的な産出を示し、伊豆大室山、御殿場、大山、英彦山などで記録されており、火山性草原との結びつきが強いとされている。年1化で9月に出現する。幼生期は未知であるがヨモギを食べると推定される。兵庫県からは記録はないが、氷ノ山を中心とする火山性草原に生息している可能性はある。

2. *Cucullia jankowskii* Oberthür (3656)

ギンモンセダカモクメ

北海道から九州までの本土域に分布するが少ない種で、産地は局地的である。年1化、8月に出現する。幼虫はオトコヨモギから発見された。兵庫県からはこれまで記録はない。

3. *Oncocnemis campicola* Lederer (3662)

クビジロツメヨトウ

局地的な分布をする種で、長野県戸台で発見され、これまで八方尾根、石川県中宮温泉、小豆島寒霞溪で記録がある。年1回、秋に採集されている。幼生期は未知である。瀬戸内海沿岸部は要注目である。

4. *Brachionycha nubeculosa* (Esper) (3665)

エゾモクメキリガ

北海道及び中部以北の山地に分布するが、剣山でも記録がある。年1回、春に出現するが個体数は一般に少ない。西播から但馬にかけての高地帯に生息しているかもしれない。幼虫はハルニレ、ミズナラ、ブナなどの広葉樹で見出されている。

5. *Xylena changi* Horie (\*\*\*\*)

ヒロバモクメキリガ

県内のハネナガモクメキリガの記録にも本種が混ざっている可能性があるが、現在のところ報告はない。

6. *Nyctycia stenoptera* (Sugi) (3722)

ヤマトハガタヨトウ

日本特産種。ヒマラヤハガタヨトウと近縁で、より局地的な分布を示す。これまでに知られている産

地は、静岡三笠山・中川根町、新城市、三重大宮町、奈良市、高知県、福岡県、鹿児島県である。年1回、晩秋の11月に出現するが成虫では越冬しない。

現在のところ兵庫県下からは記録がないが、常緑カシ林を調査すれば、見つかる可能性がある。

<引用文献>

- 1) 稲田和久(1997) 西播磨地方におけるキリガ類の採集記録 てんとうむし11:37-39
- 2) 井上寛ほか(1982) 日本産蛾類大図鑑
- 3) 岡村八郎(1987) 神戸市摩耶山の蛾類採集記録 てんとうむし10:37-45
- 4) 岡本 清(1997) 高砂の蛾 てんとうむし11:40-45
- 5) 岡本 清(1998) 黒田庄町で採集した蛾(1) てんとうむし12:30-38
- 6) 岡本 清(1999) 兵庫県で採集した蛾 てんとうむし13:50-58
- 7) 奥谷禎一(1974) 中国山脈東端の昆虫相 東中国山地自然環境調査報告173-191
- 8) 川副昭人(1987) 佐用郡三日月町の蛾覚え書 てんとうむし10:1-10
- 9) 木下總一郎(1980) 近畿地方の蛾類数種の記録 蛾類通信106:93
- 10) 高島 昭(1995) 波賀町引原ダム周辺における蛾相第1報 きべりはむし23(1):6-16
- 11) 高島 昭(1997) 上郡町で採集した蛾(1) きべりはむし25(1):31-38
- 12) 高島 昭(1997) 上郡町で採集した蛾の訂正 きべりはむし25(2):63
- 13) 高島 昭(1998) 黒川の蛾 きべりはむし26(1):23-38
- 14) 高島 昭(1998) 相生市三濃山麓の蛾(2) きべりはむし26(2):59-64
- 15) 高島 昭(1998) 西播磨地方で採集した注目すべき蛾 てんとうむし12:68
- 16) 高島 昭(1999) 兵庫県西部山地で採集した注目すべき蛾 誘蛾燈157:93-96
- 17) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録(第1・2報)48-54
- 18) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録(第3報)9-14
- 19) 宝塚市教育委員会(1993) 宝塚の昆虫 V 蛾類(II)
- 20) 田中 蕃(1967) 神戸市摩耶山に産する大蛾類 佳香蝶19(71):89-104
- 21) 田中 蕃(1966) 神戸市摩耶山に産する若干の蛾類 蛾類通信45:442-444
- 22) 谷田昌也(1986) 扇ノ山の蛾類分布資料(1)

IRATSUME 10:30-37

- 23) 登日邦明(1973) 淡路島産蛾類分布資料(I) 蛾類通信73:215-224
- 24) 登日邦明(1973) 淡路島産蛾類分布資料(IV) PARNASSIUS 11:3-6
- 25) 登日邦明(1981) 洲本市で採集された注目すべき蛾3種について PARNASSIUS 24:18-19
- 26) 夏秋 優・佐々木昇(1982) 能勢地方の蛾(I) 上阿古谷・夏の蛾 Crude 23:1-37
- 27) 夏秋優・佐々木昇(1984) 能勢地方の蛾(III) 妙見山・夏の蛾(1) Crude 25:15-22
- 28) 夏秋優・佐々木昇(1985) 能勢地方の蛾(IV) キリガ(その1) Crude 26:1-12
- 29) 夏秋優・佐々木昇(1990) 能勢地方の蛾(V) スギタニモンキリガとその近縁種について Crude 34:1-5
- 30) 新家 勝(1985) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(統報その4) きべりはむし13(2):36-40
- 31) 新家 勝(1981) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(その2) きべりはむし9(2):17-20
- 32) 林 俊雄(1983) 淡路島産蛾類採集記録(I) PARNASSIUS 28:13-16
- 33) 藤富正昭(1994) 私版 淡路の昆虫リスト PARNASSIUS 41:1-4
- 34) 藤平 明(1987) 南淡の蛾 自刊
- 35) 藤平 明(1999) 淡路島南部の蛾 自刊 1-96
- 36) 藤平 明(1974) 南淡の蛾(II) PARNASSIUS 12:5-13
- 37) 松本健嗣(1983) 神戸市山田町の蛾(統報II) きべりはむし11(2):57-58
- 38) 八木 剛(1998) 六甲山系布引公園および鉢伏山のキリガ類相 きべりはむし26(2):67-74
- 39) 柳田慶浩(1999) 西日本(九州主体)の興味ある蛾類 誘蛾燈156:29-44
- 40) 山口福男(1999) 諏訪山公園で採集した蛾 きべりはむし27(2):37-41
- 41) 山本義丸(1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録12-50
- 42) 山本義丸(1996) 兵庫県氷上郡地方の蛾類(1) きべりはむし24(2):1-13
- 43) 山本義丸(1997) 兵庫県で採集した蛾の記録 きべりはむし25(2):54-57
- 44) 山本義丸(1955) 氷ノ山の蛾について(第1報) 兵庫生物3(1/2):3-6
- 45) 遊磨正秀(1973) 六甲山地域の蛾類 I きべりはむし2(1):1-9
- 46) 遊磨正秀(1979) 宍粟郡波賀町引原ダムの蛾類について(II) きべりはむし7(2):2-16

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)